

神奈川健生音楽団では老人ホームなどへの出前演奏のほか、歌声サロンや自主コンサートも行う。「得意技を生かし地域の役に立つことが、私のセカンドライフでの目的です」と話す都築さん（右端）＝川崎市宮前区のヒルデモアたまプラーザ・ビレッジ 神奈川健生音楽団のブログは<http://kksmusika.exblog.jp/>



ひらり放課後

人生を通しての趣味「音楽」で
地域に関わり、自分も変える
都築 潔さん「71」

通じて知った盲目のバリトン歌手・時田直也さんの演奏会を横浜市内30校以上の小中学校で行った。

地域の合唱団にも所属し、その指導者・久住祐実男さんがプロ合唱団「日本合唱協会」の代表を務める縁で、同協会の小中学校での演奏会もコーディネーター。2011年11月には宮城具気仙沼市の小中学校を回り、「復興激励コンサート」を贈った。

こと3月に久住さんが男声合唱団「田園グリークラブ」を設立した際は、準備段階から尽力。団員として、7月8日に青葉公会堂（横浜市青葉区）で開催の「青葉コーラスのつどい」出演に向けて、目下猛練習中だ。

「妻には『このごろ表情が和らいだ』と言われるんですが」と苦笑する。仕事人生で身に付いたよろいを、がし、本来の自分に戻る。これも第二の人生の課題であり、楽しみだろ。

（文・北川原 美乃
写真・木田 亜紀彦）

「今日はロマンスグレーの美男子の方々が来てくれました」と思いました。この「ヒルデモアたまプラーザ・ビレッジ」（川崎市宮前区）の職員の紹介で、大きなネクタイを着けた10人の男性が登場した。神奈川健生音楽団のメンバーだ。音楽団は神奈川健康生きがいきづくりアドバイザー協議会の有志によるサークルで唱歌や懐メロを演奏。「涙ぐんで一緒に歌って



演劇が好きで、食品メーカーに就職すると社内の演劇部に入った。ところが声の大きさを見込まれてコーラス部に誘われ、混声合唱を体験。「何て美しいハーモニーだろうと身震いしました」



健康や生きがいきづくりは関心があって独学し、地域でセミナーを行っていたが、「公的資格を持たず、無免許運転みたいな気がしていた。そんな折、健康生きがいきづくりアドバイザー

ユニークな活動を行う中高年を募集。都築さんの情報もファックスで届きました。郵便番号231-8445、神奈川新聞報道部・団魂ひと係。ファックスは045(2227)0150。採用の場合のみ連絡します。